

保護日数	日付	曜日	エサ	BW (g)	天気	備考
1	受取時情報 (2019年2月15日)	金	ラウディブツシュ(リカバリ)	53	晴	9:00頃に某幼児教室(今津町今津)の窓に衝突し、墜落。保護後、10分程度あとに動き始めたと報告。 20:00頃にあずかり。 左半身に麻痺がある様子。羽ばたくことはできる。 寝かす前に強制給仕(ラウディブツシュのリカバリ)。
2	2月16日	土	ラウディブツシュ(リカバリ)	51		レントゲンにより、右脳の中に炎症がみられる。 消炎剤を処方(10日分) 左半身はかわらないが、少しずつ元気にはなっている。
3	2月17日	日	ラウディブツシュ(リカバリ)	49		昨日よりも高く飛べるようになっており、段ボールから出ることができ。ただし、支えなしに立つことはできない。左に傾いていることはわかっているようで、左に壁などがあるところを好み、支えながら立って移動する。前に少し飛べるようになっているが、左に墜落する。距離にすると、高さ30cm、距離1~1.5m程度。
4	2月18日	月	ラウディブツシュ(リカバリ)	46		元気に飛ぶようになったものの、左側に落ちる。目視でも左の翼が開ききっていないことがわかる。 強制給仕は4回(2~3ml/回) 左翼と左脚の伸展運動。
5	2月19日	火	ラウディブツシュ(リカバリ)、ヒマワリ、ペレット	41		運動能力としては大きな変化はない。体重が大きく下がっているため、強制給仕以外に固形を入れることとする。 7:00 2ml+ヒマワリ10粒(0.8g) 12:20 2ml+ペレット(オウム)3粒(ふやかして) 18:20 2ml+ペレット3粒+ヒマワリの種3粒 左翼と左脚の伸展運動。消炎剤。
6	2月20日	水	ラウディブツシュ(リカバリ)、ヒマワリ、ペレット	40		昨日よりもよく動くようになった。壁伝いではあるが、倒れずに移動をたくさんする。数秒ではあるが、左に倒れずに我慢できるようになった。5回に分けて、シギペレット、オウムペレット、ヒマワリ、リカバリフードを強制給仕。固形は一回につき、0.5~1.0g程度を基準とした。 7:00、11:00、14:30、18:30、21:00 左翼と左脚の伸展運動。消炎剤。
7	2月21日	木	ラウディブツシュ(リカバリ)、ヒマワリ、ペレット、ミルワーム(缶詰)	40		少しずつ、立てるようになってきた。左に倒れずに少し我慢して立てるようになった。 飛ばすと左翼が開きにくく傾くものの、スピードも出てきた。左翼と左脚の伸展運動。消炎剤。 7:00、12:30、20:10、23:00(ミルワーム20匹)
8	2月22日	金	ラウディブツシュ(リカバリ)、ヒマワリ、ペレット、ミルワーム(缶詰)	42		よく鳴くようになってきた。ヒマワリの種を食べた痕跡がある。 7:00、13:00、21:00、23:00強制給仕。 消炎剤、翼と脚の伸展運動
9	2月23日	土	ラウディブツシュ(リカバリ)、ヒマワリ、ペレット、ミルワーム(缶詰)	43		ミルワームとヒマワリの種の自食が確認できた。その他の餌は不明。 7:00、11:30、21:30にネオネイト2mとシギとオウムのペレットを1強制給餌。 消炎剤、翼と脚の伸展運動 ホッピングの移動においても、一定方向だけでなく、ランダムに移動できるようになった(以前は、左に壁を置き、持たれながら一定方向のみ移動可能であった)。
10	2月24日	日	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	42		ヒマワリの種やミルワーム(缶詰)などの自食が確認できたので、強制給餌を終了し、完全自食に切り替えることとした。 飛翔距離やスピードも上がってきたため、広い場所に移すことを検討していく。距離が伸びるとどうしても左に曲がっていく。まだ左右対称とまではいかない。
11	2月25日	月	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	51		9:00計量。完全自食になったため、朝から食べた餌の量も加わって体重が大幅に増加していると思われる。 部屋の端から端まで十分に飛べるようになってきた。また、地面からでも高さのある飛翔ができるようになってきた。ただし、立っているときや、ホッピングしているときに、時々、まだ左に傾くことがある。消炎剤投与。伸展運動は終了し、飛翔自力運動のみのリハビリとする。

12	2月26日	火	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	-	蚊帳(ワンタッチ 170×125×145(h))のリハビリを開始。消炎剤は終了。 ホッピングもかなり安定してきており、長い距離もジャンプできる。 日中はエアコンを切り、少しずつ外気に近づけていく。
13	2月27日	水	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	46	体重が安定するまでは、夕暮れ後もしばらく電気をつけて、食事ができるようにした。
14	2月28日	木	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	47	飲水も確認できた。フォーミュラやネオナイトの強制給餌をしていないため、飲水にネクソンを溶かすようにする。
15	3月1日	金	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	48	日中夜間ともにエアコンによる気温管理は一切しないようにして、外気温に近づけていく。
16	3月2日	土	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	49	撥水性がないため、1日2~3回霧吹きをしながら羽の管理をさせるように促す。
17	3月3日	日	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	48	蚊帳を大型(250×330×200)のものに変更し、部屋全体をリハビリ小屋とすると同時に、網戸にし、外気温=室温となるよう管理していく。 体力の回復、外気温への順応、撥水機能の回復を促し、放鳥準備を開始する。
18	3月4日	月	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	49	夜は冷えているが、一部開けたままで就寝をさせる。
19	3月5日	火	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	49	撥水はかなりよくなってきている。蚊帳の中でも、捕まえるのにかなり時間を要するようになってきた。
20	3月6日	水	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	48	朝から外のシメと鳴きあっている。
21	3月7日	木	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	47	背中側の撥水が低いことが判明。おなか側の撥水は改善されている。
22	3月8日	金	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	49	蚊帳の中ではかなりの時間をかけなければ捕まえることが難しいまでになっている。背中側の撥水あり。
23	3月9日	土	ヒマワリの種、その他ハトやインコのシード、ミルワーム(缶詰)、ペレット	49	晴 12:23に保護地付近の神社で放鳥。約1時間目視にて追跡。落ち着いて羽繕いしたり、高い木や低い木を行き来するなどしたことで、飛翔に問題ないことを確認し、追跡を終了。小鳥のため、追跡を続けることで、採餌に影響すると体重減少等につながる可能性があることを考慮し、深い追跡は行わないこととした。

追跡詳細

- 12:23 放鳥。すぐに飛び立ち、目の前の木に止まる。
 12:27 近くにカワラヒワがとまり、隣の枝に移動
 12:30 枯れ松に移動。
 12:33 東側に飛び出し、見失う
 12:40 神社南側の茂みにシメを発見
 12:45 一本松へ移動。脚の目印を確認。
 12:50 初めに止まった木に戻る
 12:51 田んぼ側に飛び、下に降りる
 12:52 保健所の茂みに飛び込む
 12:55 いなくなったと思い、メンバーが近づくと、
 茂みから飛び出し、クスノキ方面の枯れ木に止まる。
 12:57 東側に飛び出し、見失う。追跡終了

